

三島村の新造船「フェリーみしま」に会う

2021-1-22 池田良穂

鹿児島県の三島村は、薩摩半島の南側の海上に点在する竹島 硫黄島、黒島から成り、村役場は鹿児島市内に置かれています。この島には、村営船が鹿児島港から発着しており、今年、新造船に代替されました。船名は、先代の「みしま」の頭に「フェリー」が付いた「フェリーみしま」。建造は内海造船です。瀬戸田で艀装中の同船は見ていたものの、まだ、実際に運航中の姿は見ていなかったもので、1月に見にでかけることにしました。毎週日曜日の午後に鹿児島港に入港するので、桜島をバックに入港する姿を捉えられると、わくわくしながら、1月15日に大阪南港から「フェリーきりしま」に乗船して志布志に向かいました。

実は、この日は40数年前に「さんふらわあ11」船上で結婚式を挙げた記念日で、同じ航路の船旅もいかなと、数週間前に予約をしておきました。GOTOトラベルでほぼ半額の料金となるので最上級のスイートルームをとり、車も乗せていくことにし、鹿児島での宿泊も、奮発して、城山ホテル鹿児島を予約していました。ホテルもGOTOトラベルで半額となり、とてもリーズナブルな価格での旅行になったと喜んでいました。しかし、1月7日に非常事態宣言が出て、全国的にGOTOトラベル事業が停止となり、予約サイトからは「無料でキャンセルできます」という通知が送られてきました。一瞬旅行の取りやめも頭を過りましたが、フェリー会社もホテルもキャンセル続出で大変だろうと思い直し、予定通りの鹿児島旅行を決行しました。

大阪南港のフェリーターミナルでは、検温、そして健康状況の申告書を提出して、チェックイン。駐車場に並んだ乗用車は10数台という少なさでした。この船の乗用車甲板は、主甲板のトラック甲板の下に3層あって、船内ランプで降りていく形式になっていますが、金曜発便のせいかトラックも少なく、トラック甲板での駐車となりました。車を止めて、エレベーターで旅客甲板まで上がり、8階の右舷側のキャビンに入りました。ベランダ付きの立派な部屋でした。今回の航海は、往復共に強風で海が荒れて、オープンデッキへのドアが閉鎖されている時間が長く、シップウォッチングにも写真撮影にも、このキャビンのベランダがとても役に立ちました。

出港直後にレストランがオープンしました。結婚記念日だったので、シャンペンでの乾杯と思っていましたが、コロナ対策でレストランでの飲酒はできなくなっていて、公室での飲酒もご遠慮下さいとのことでした。こんなわけで、夕食後に、ショップでお酒を購入して、キャビンでの祝杯ということになりました。

翌朝、志布志港では荷役中の2隻のバルクキャリアの横で直角に曲がって着岸。港内には、マルエーフェリーのRORO船「琉球エクスプレス3」も寄港しているのが見えました。

乗用車の下船は、トラックが下船してからということで、着岸後25分ほどして、乗用車客の下船の案内がありました。九州上陸後、まずは北上して宮崎県の日南市に向かい、大島航路の市営船「あけぼの3」の入港シーンを撮影。その後、山越えして桜島へと向かい、桜島港からフェリーに乗船して鹿児島港に到着しました。港には、いないはずの「フェリーみしま」の姿がありました。風は強く、一部の小型フェリーは欠航しており、「フェリーみし

ま」の中の1隻でした。「フェリーみしま」の欠航は2日間続き、最終日の朝に出港する姿を、なんとかカメラに収めることができました。桜島をバックにした入港写真は無理でしたが、新港の白灯台付近から、出港する同船と、停泊する「みしま」の姿が同時にファイナダーに収まった時には嬉しくなりました。

帰りも志布志から大阪まで「さんふらわあきりしま」に乗船しました。



大阪南港のフェリーターミナルに停泊する「さんふらわあきりしま」。



この日はトラックも少なかったようで、乗用車もトラック甲板に駐車することになりました。



ベランダ付きのスイートルームを利用しました。



キャビンのベランダです。



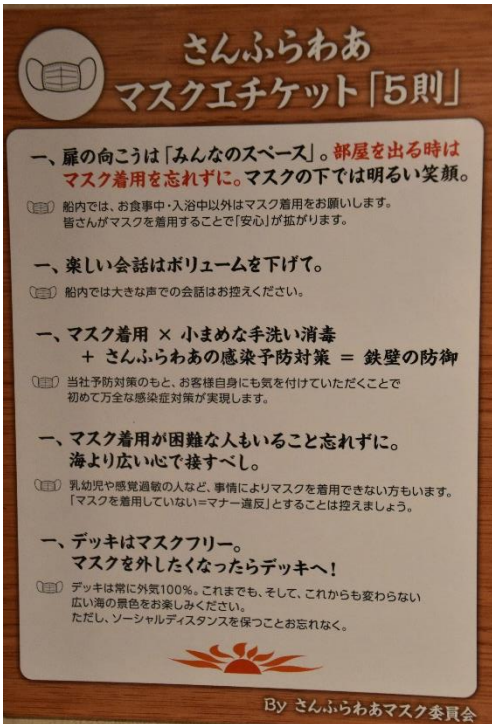
案内所の前には、コロナ対策を知らせる看板がださされていました。



乗組員が定期的の手すりの消毒清掃をしていました。本当に大変ですね。ご苦勞様です。



レストランはバイキング式ですが、乗客はマスクをして、手袋をはめて料理をとります。



さんふらわあマスクエチケット5則が張られています。



レストラン内のアルコール類の販売は中止ですが、ショップでは販売されていて、部屋で静かに飲むのはOKでした。



売店には「さんふらわあグッズ」が並んでました。



志布志港に入ると、コンテナターミナルにフィーダー航路のコンテナ船が荷役中でした。



フェリー埠頭の横の岸壁では、2隻のばら積み船が荷役中でした。



左に直角に曲がって、いよいよフェリーターミナルに着岸です。



東京～志布志～沖縄航路のマルエーフェリーのRORO船「琉球エクスプレス」が寄港しており、出港を見送ることができました。



日南市営の大島航路の客船「あけぼの 3」です。日南市の明井津港と沖合の大島を結んでいます。



鹿児島港には、この日にはいないはずの「フェリーみしま」が停泊していました。荒天での欠航のためでした。



2日間欠航が続き、3日目の朝に出港する「フェリーみしま」の姿が捉えることができました。手前に先代の村営船「みしま」が停泊していますが、新船がずいぶん大型化されていることに驚きました。



鹿児島港を出港する「フェリーみしま」です。



鹿児島滞在 2 日目の朝、マリックス・ラインの「クイーンコーラル・プラス」が桜島をバックに、新港に入港してきました。



3日目の朝の入港船はマルエーフェリーの「フェリー波之上」でした。



鹿児島港と桜島港を結ぶ第 15 桜島丸で、5 隻のフリートの中では最古参のフェリーです。



桜島フェリーの中では最も新しい「第 2 桜島丸」です。



新港の防波堤の上から、空中に少し浮かぶ船の蜃気楼も撮れました。左は「フェリーおおすみ 8」、右は鹿兒島に向かってくる「クイーンコーラル・プラス」です。



鹿兒島新港に入港する「クイーンコーラル」と、本港を出港して種子島に向かう「プリンセスわかさ」です。



鹿兒島港に入港する「フェリーあまみ」です。



新港に入港する「フェリー波之上」と、屋久島に向けて本港から出港した「フェリー屋久島 2」のツーショットです。



ホテルからみた桜島と錦江湾です。正面少し右に本港の入口が、左手には桜島フェリーの 2 隻が航行しているのが見えます。本港には、奄美海運の「フェリーきかい」と「フェリーあまみ」の一部が見えています。午後の撮影で、夕刻になると夕日で桜島が燃えるように赤くなります。